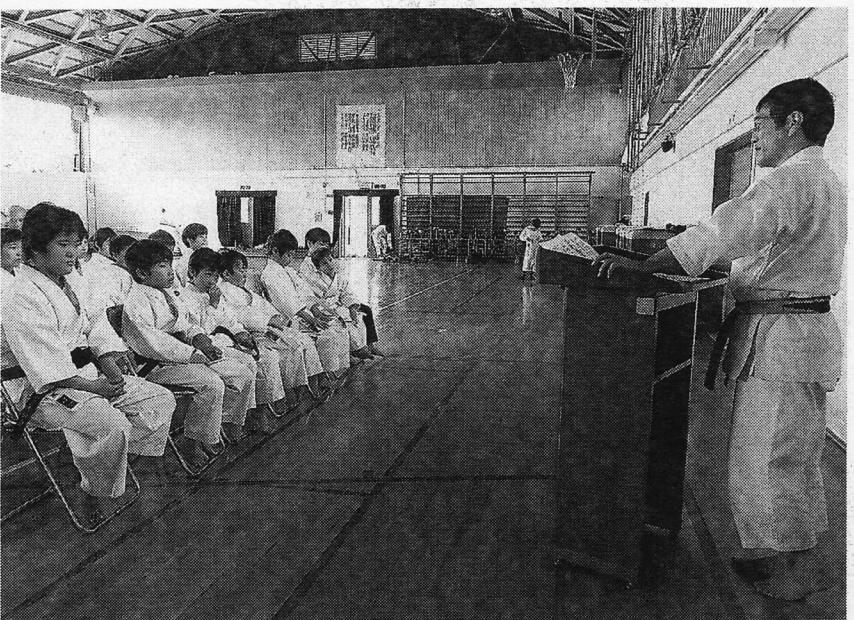


空手塾 論語で心技体



瀬戸謙介さんが開く空手塾。毎月1度、論語の授業がある=東京都目黒区

儒教の祖といわれる中国・春秋時代の思想家・孔子（紀元前551～同479）。その言葉や行い、考え方などをまとめた「論語」を、自分なりに解釈し、現代に生きた言葉として子供たちに伝えようとしている空手家がいる。

子供たちに経験踏まえ講義

東京都目黒区にある区立第七

すべし

中学校。夕方近く、それまで突きや蹴りの稽古をしていた子供たちが、体育館に椅子を並べ始めた。瀬戸塾塾長の瀬戸謙介さん（65）が壁に論語の一節を書いた紙を張る。そのまま講義が始まった。

「子路、成人を問う。（略）利を見ては義を思ひ、危うきを見ては命を授く、久要、平生の言を忘れざる、亦以て成人と為

ます。
「今日は成人について話をします。どんなイメージを持つてか」と切り出した。「成人式」「お酒が飲める」と口にする子供たち。「そうだね、毎年1月にはあちこちで成人式が開かれます。大騒ぎする人もいるし、中にはお酒を飲みに行く人もいるでしょう。でも、本当の成人とは、物事の道理や筋道を楽しむ論語教室を開いたところもいるでしょ。でも、本当に教室でも月1回、論語の授業を行なうことになった」。

「でも、私は別に論語の専門家というわけではありません。だから授業では、自分の経験を踏まえながら、わかりやすく話すことを心がけています」たとえば、「論語の「為政第二」にある「子曰く、異端を攻撃するは、斯れ害あるのみ」。子はおっしゃった。「聖人の道と違つたことを研究するのは害があるだけだ」などと訳されることが多い。

だが、瀬戸さんはこれを次のように解説する。

「私は以前、日本刀に興味を持ったことがあります。そこで、刀屋さんで話を聞いて回つたのですが、どんな刀がいいのか、全然わからなかつた。そこで博物館で国宝級のものばかり見るようになら、二級品を見た時、嫌な感じがするようになりました」

「人間も同じだと思います。人としての基本がまだわからぬ人が、正統ではないもの、本

理解できるようになることではないでしょうか」日本空手協会会長の瀬戸さんは「8年前だ。もともと大人を対象に空手と武士道を教えていた。「空手は使い方を誤ると暴力になる。だから、私の所に来る人には、技と心を同時に学んでもらいたかった」

ところが、講義から「論語」だけを独立させる形で「親子で楽しむ論語教室」を開いたところもいるでしょ。でも、本当に成り好評。そこで、子供向けの「学校教育とは別の、生きている、大事なこと、生きる理

本道を歩め／道理を理解できるのが本当の成人

「私は以前、日本刀に興味を持ったことがあります。そこで、刀屋さんで話を聞いて回つたのですが、どんな刀がいいのか、全然わからなかつた。そこで博物館で国宝級のものばかり見るようになら、二級品を見た時、嫌な感じがするようになりました」

「人間も同じだと思います。人としての基本がまだわからぬ人が、正統ではないもの、本

理解できるようになることではないでしょ。」
瀬戸さんの夢は、子供たちが「子供が育つ「論語」」（いずれも致知出版社）も出版した。論語を子供たちに教えることについては、「偏ったことを教えるんじやないか」との危惧もあつたと聞いています。瀬戸さんは言う。「でも、私が話しているのは、人として当たり前のことばかり。価値観自体が揺らぐ現代社会で、論語は人が生きるために指針として、もっと見直されるべきだと思ふ」

瀬戸さんの夢は、子供たちが学識・人格ともに優れた「君子」に育ってくれることだ。「私の好きな論語の言葉『子曰く、志士仁人は、生を求めて仁を害することなし』のよう、仁の道に外れず、人のために尽くす、そんな人間になつてもらいたい。そのため、今後も講義を続けていくつもりです」と話している。

「よくわからないこともあります。けど、話は楽しい」と奥田皓太君（8）。母親の千佳子さんは「学校教育とは別の、生きるために大事なこと、生きる理

論を教えてもらっているような気がします」と話す。

昨年、これらの授業をまとめ

て「子供が喜ぶ「論語」」（いず

れも致知出版社）も出版した。

論語を子供たちに教えること

について、

ことは書にしかなりません。孔

子は「本道を歩め。本道を歩む

ことによって、人間の生きる正

しい道が見えてくる」と言いた

かったのではないでしょ。うか

こうな瀬戸さんの授業は、子

供たちにも受け入れられている

ようだ。